



発行日
2016年7月1日
第1号

発行：医療法人社団松和会介護老人保健施設
「ききょう苑」 広報資料作成委員会
〒259-1126 神奈川県伊勢原市沼目 6-1237
TEL: (0463) 92-8101 E-mail: kikyo-en@showakai.or.jp

ききょう苑通信

◆施設長より



「ききょう苑」を上手に

利用してください！

「ききょう苑」ホームページ
<http://www.mtnet.jp/kikyo-en/>

あたりまえのことのようですが、自分で好きなところへ歩いていける、好きなように自分で食事ができる、ゆつくりと一人でお風呂を楽しめる、トイレだって心配ない…。でも、けがや、病気、あるいは年齢のために、それがなかなかうまく行かないことがあります。また、自立した生活を過ごすための体力の維持や予防が必要になることもあります。

「ききょう苑」では、そのようなとき、病院（治療）と家庭（自立）との架け橋として、リハビリテーション、介護のスペシャリストがそのお手伝いをしています。そして、その効果、回復を、3ヶ月をめぐりに評価して、利用者様の自立のお手伝いをしています。

「ききょう苑」は「ききょう苑」に来て、通って、知って、良かったと、利用者の皆様、そしてご家族、地域社会、そして、職員からも言ってもらえるような施設づくりを目指しています。

より良い自立した生活を目指すために、どうぞ、「ききょう苑」を上手に利用してください。私たち、職員一同も、少しでもそのお手伝いができるよう、毎日努力していきます。

「ききょう苑」のサービス

(1) 入所リハビリテーション…ご自宅から通ったり、ご家庭でのリハビリテーションが困難なときに、3ヶ月をめどに、「ききょう苑」に入所して、リハビリテーション訓練をします。

(2) 通所リハビリテーション…ご自宅から通所しながら、「ききょう苑」でリハビリテーション訓練をします。

(3) 訪問リハビリテーション…ご自宅にリハビリテーションのスペシャリストがお伺いして、訓練をします。

(4) ショートステイ…介護されているご家族のご都合などで、期限を区切って、短期間の入所介護サービスを行います。

(5) その他…高齢者の介護に関して、できる限り、ご相談に応じるようにしています。

医療法人社団松和会

介護老人保健施設「ききょう苑」

施設長 小澤 明

「施設長のプロフィール」

東京都出身。名古屋市立大学卒業。慶応大学病院研修医を経て、1975年東海大学病院に助手として就任後、米国ジョージア州立医科大学講師、東海大学講師、助教授を経て、主任教授。東海大学病院副院長、臨床研修部長を歴任し、名誉教授。2015年4月現職就任。日本皮膚科学会賞、日本医師会優功賞受賞。

「ききょう苑」の介護サービス心得

- き：聴く（よくお話を聞きます）
- き：聞き返す（お話の内容を確認します）
- よ：読み取る（お話の内容から、心の声も）
- う：促す（指示、強制や制限することなく）

◆入所部

医師や専門スタッフが入所者様一人ひとりの生活環境を考え、看護、介護、リハビリテーションを提供し、自宅復帰に向けて様々な援助を行っています。また、短期間の施設入所（ショートステイ）もご利用いただけます。

入所者様が利用する居室は75床（3階個室35床・2階多床室40床）あり、それぞれプライバシーに配慮された居室になっております。

入所者様には食事、お風呂の他に、体操やレクリエーションを提供し、楽しく施設生活を送って頂くよう努めております。



3階個室



レクリエーションで作品を作成中

ききょう苑

運動会開催！

5月25日（水）天気が心配でしたが、運動会の時間は晴れ間に恵まれ、駐車場にて開催することが出来ました。

近隣のグループホーム（すずらん）の方々や立正幼稚園の園児と共に玉入れや鈴割りを行いました。入所者様の普段見ることのできない笑顔が印象的でした。



園児たちとの玉入れ



準備万端！！ がんばるぞー！

◆通所リハビリテーション部

ききょう苑通所リハビリテーションでは、利用者様個々の状態に応じ、通所リハビリテーション計画書にしたがって理学療法士、作業療法士、言語聴覚療法士による個別リハビリテーションを実施しています。入院生活を送った後、ご自宅へ戻られ、以前まで一人で出来ていた事が難しくなってしまうことがあります。そのような場合にご自宅まで車で迎えに行き、日帰り専門家によるリハビリテーションを受けていただいています。同世代の方達との交流、カラオケや手芸工作、ゲーム等の充実したレクリエーションを笑顔で楽しんでいただけます。お手伝いをしていきます。また、ご自宅での入浴が難しくなった方への入浴のお手伝いもさせていただきます。

これからも、自分らしく暮らしていきたい、その気持ちを大切にしていきます。見学をご希望される方は、どうぞご連絡ください。

通所部門 部門長 宮崎亮

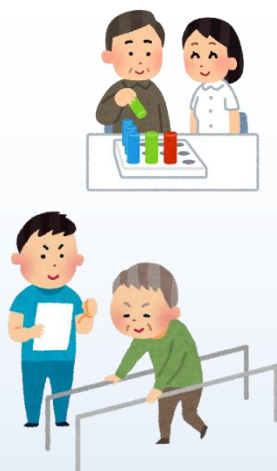
時間	通所リハビリテーション 一日の流れ
8:20~9:00	ご自宅まで乗合いによりお迎えに上がります。※ご家族送迎の利用者様は9:00~9:10を目安にお越しください。
9:25頃	朝の会
9:30~12:00	リハビリテーション(午前の方)／入浴 ※お時間は当日にご案内します。
12:05	昼食
13:15	リハビリテーション(午後の方)
13:30	レクリエーション
14:35	おやつ
15:30	帰りの会 ※ご家族送迎の利用者様は 15:30 頃を目安にお迎えをお願いします。
15:40	ききょう苑出発。乗合いでご自宅までお送りいたします。

職員一同お待ちしております♪



◆リハビリテーション部

昨年度より、新たなききょう苑の顔となる小澤施設長の下、リハビリテーション部も改革と向上に努めております。まず、入所の皆様のご希望や生活状況をつかみ、リハビリテーションの目標をわかりやすく説明し、日常生活に活かすことが出来るように、サービス担当者会議でご説明しています。立てた目標は3カ月ごとに達成率に応じて、新たな目標を立て直すなど訓練がマンネリ化しないように工夫しています。利用者様の生活などで困ったことや心配な事がありましたら、担当療法士にご相談ください。



ききょう苑ではリハビリテーションをご利用の皆様に対して総勢10名の療法士がリハビリを実施しています。理学療法士・作業療法士・言語聴覚療法士が利用者様の状態に合わせて、それぞれの専門性を生かした総合的なリハビリを行っています。今回はその内容について簡単にご紹介します!

PT【理学療法】

座る・立つ・歩くなどの動作能力の回復や障害の悪化の予防を目的に、運動療法や物理療法などを用いて自立した生活を送れるようお手伝いします!

◆訪問リハビリテーション

ききょう苑では開設当初より入所者に対する個別訓練や通所利用者に対する個別リハビリテーションを行い、成果を上げて参りましたが、平成25年6月より訪問リハビリテーションを開始しました。訪問リハビリテーションは、担当療法士がご自宅に訪問し、個別の希望や課題に即してリハビリテーションを提供するものです。

現在訪問リハビリテーションのご利用者は30名を超え、訪問場所は伊勢原市内だけでなく秦野や平塚に広がっています。今後、利用者のニーズの多様化や地域での在宅支援の広がりを見据え、訪問事業は重要となってくると考え、入所、通所、居宅介護支援事業に続くききょう苑の第四の柱となるように努めてまいります。

OT【作業療法】

からだやこころの機能の改善を援助するとともに、食事・着替え・トイレ・入浴など、日常生活の練習を行っています。また認知症の予防や家事の練習、趣味・仕事復帰へのお手伝いも行います!

ST【言語聴覚療法】

ことば(話しづらさ、言葉の出にくさなど)や聞こえなど日常の会話に問題がある場合、食べること・飲み込むことに問題がある場合などに対し、自分らしい生活を送れるようお手伝いします!

◆看護部より



今回は、年々増加傾向にある「熱中症」の症状別の対処について、お話しします。
①めまい・手足の痺れ・こむら返り等が出現した場合
涼しい場所で衣服をゆるめ、足を高くして寝かせ、身体を冷やしてスポーツドリンクなど(塩分を含むもの)を飲みましょう。

②頭痛・吐き気・嘔吐等が出現した場合
①と同様の対処を行う。自力で水分が飲めない場合は、すぐに病院を受診しましょう。

③意識消失や痙攣を起こしている場合
すぐに救急車を呼んでください。
熱中症予防に効果的な食べ物、スポーツドリンク・牛乳・梅干し・スイカなど。では、皆様、この夏を元気に乗りきりましょう!

◆お知らせ

- ★入所行事
・敬老会 9月19日(月・祝)
- ★入所ボランティアのイベント
・子供音楽教室演奏会 7月27日(水)
・「いろり座」公演 8月31日(水)
※13時30分~14時30分の予定
- ★入所の夏季衣替えについて
・ご家族様は夏服と冬服の入れ替えをお願い致します。

◆編集後記

この度「ききょう苑通信」を刊行する運びとなり、ここに記念すべき創刊号を発刊することができました。これらひとえに皆様のご理解とご協力の賜物と感謝しております。次号は10月発刊予定です。今後とも宜しくお願い致します。